

事務所通信 リソース

2月号 VOL. 55



安心が私たちの商品です

税理士法人 中央総合会計

〒070-0037 旭川市7条通13丁目 59 番地 4

TEL: 0166-25-4131 FAX: 0166-25-4132

URL: <http://csk-i.com/> E-mail: cyuou@csk-i.com

税理士法人 中央総合会計 北見

〒090-0023 北見市北 3 条東 2 丁目 14 番地

TEL:0157-24-8866 FAX:0157-24-6108

E-mail:cyuou-kitami@mocha.ocn.ne.jp



昨年12月、多くのファンに見守られながら惑星探査機『はやぶさ2』が50億キロの挑戦に旅立ちました。目指す小惑星に到着するのは2018年。着陸して石を採取し、東京オリンピックが開かれる2020年に地球へ帰ってくる計画です。はやぶさ2に負けたくないよう5年後を目標に新たな挑戦をしてみたいですね。今月よりタイトルのデザインを変えました。今後ともよろしくお願ひします。

【外形標準課税の対象が拡大される?】

日本の法人税の実効税率は、欧州やアジア各国に比べて高い水準にあるといわれています。この税率を引き下げするためには、別の財源確保が必要となります。ひとつとして挙げられるのが、法人事業税の外形標準課税の対象拡大です。

企業はその活動をするにあたり、地方自治体より道路や防災、警察など各種の行政サービスを受けています。法人事業税は、『この経費を企業が負担すべきである』という考えにもとづいて地方税です。行政サービスは赤字企業も赤字企業も受けています。そのため、ほとんどを赤字企業で負担している所得だけを基準とする従来の方式ではなく、赤字企業も負担する事業規模などを基準として課税する外形標準課税は、より公平に行政サービスを負担する制度と考えられています。

外形標準課税制度は平成十五年度の税制改正で創設され、平成十六年四月一日以後開始の事業年度から適用されています。現在のこの制度の対象になるのは、資本金の額または出資金の額が1億円を超える法人です。北海道に本社のある企業では約五百七十社余りとなっています。公共法人等、人格のない社団等、特別法人などは除かれます。

新たな財源確保のためにこの対象を資本金一億円以下の中小企業にまで拡大することは、中小企業の新たな負担となり地域経済に悪影響が及ぶと心配があります。

【今月の教えてキーワード:スタグフレーション】

経済の停滞を意味するスタグネーションと物価高騰を表すインフレーションの合成語で、景気の停滞にも関わらず物価が継続的に上昇している状況のこと。今までの日本のように本来、景気が停滞すると消費が弱まり物価が下落するデフレとなりますが、原油や穀物などの原材料の価格が高騰し、その上昇分を価格に転嫁することなどが誘因材料となります。最近の日本でもこの予兆が指摘され、景気回復の施策が議論されています。

【「かわいらしく使いやすい」子ども向け万年筆が大人にも大人気】

パイロットの『カクノ』は「はじめての万年筆」がコンセプトの子ども向け万年筆です。鉛筆を参考にした六角形で、正しい持ち方が身に付くグリップ、ペン先にはスマイルマークと、万年筆で書くことを楽しむ工夫が詰まっています。同社の売れ筋商品が1万円に対し、カクノは1本千円の低価格。使い勝手の良さからファンになる大人も多く、累計販売数は50万本を突破しています。「はじめての万年筆」から、さらに将来的なニーズ拡大の可能性を秘めたヒット作です。



「環境適応業」

「最も強いものが、生き残るのではない。また、最も賢いものが生き残るのでもない。変化に対応したものが生き残ることができるのだ」とダーウィンが書いたとか。ところで、変化に対応するのに一番大切なものは何か。それは変化が起きていることをしっかり見つめて自覚し、肯定することではないでしょうか。

家族の忠告、社員からのアドバイス、取引先からのクレームなど自社(自分)にとって都合の悪いことは見ない、聞かない、あるいは見えない、聞こえないかもしれません(あーあ…自分で書いていて耳、いや手?が痛い。)そして、現状維持で済ますことのできる情報だけを受け入れる。そして、いよいよ見過ごせなくなっても、一時的なことだからいつか消費は回復する、いつか公共事業が増える、いつかは好況になる、などと考えて「変化」ではなく一時的な事だと思いつめようとする。きっと人間は変化することが嫌いなのでしょう。

今のこの状況が本来の姿なのだと肯定したときにはじめて変化した環境に立ち向かい、対応する方法を見つけ行動することが出来るでしょう。

経営は「環境適応業」と言われます。人類も大きな環境の変化に対応し現在があります。我々の中のDNAを呼び起こし、変化を自覚し、恐れずチャレンジし続けていくことが必要なのだと思います。

中央総合会計 代表税理士 井内 敏樹

「旬の食べ物」

インフルエンザが猛威を振るっていますが、健康でいるために「食」は健康の基本、今が旬と呼ばれるものは栄養価も高くおいしさも格別です。最近では栽培技術が高まり、年中同じ食材が手に入る時代ではありますが、本来の収穫時期にとれたものを食べるのは体調を整えるために大切なことです。旬のものを味わって風邪やインフルエンザを予防したいですね。